

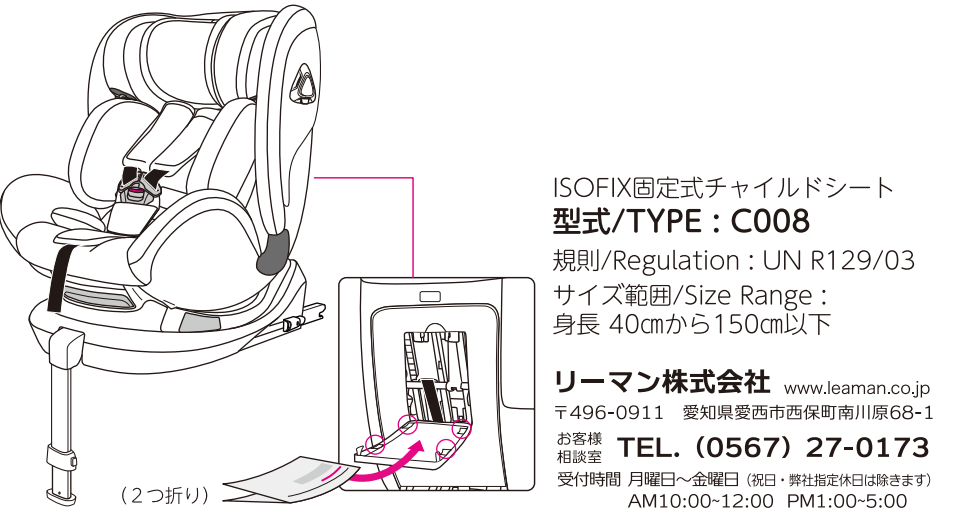
取扱説明書 保証書付

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



表示マーク	この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
禁止	図示されている内容の禁止を示しています。
確認	安全のため、必ず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。
うまくいかない時は	うまく作動しない時などに役立つ補足説明がまとめてあります。ご参照ください。

R57

事前準備 はじめにシリアルNo.をお控えください。

1 適合の確認

R129とは i-Sizeとは

R129とは、精度の高いダミー人形の使用や側面衝突に関する試験等、これまで以上に厳しい内容を含めたチャイルドシートに関する国連規則です。

i-Sizeとは、お客様が簡単・確実に取り付けることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリーです。i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。i-Size 表示 ※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。

また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮する為に、お子さまの身長にあわせた使用方法とし、**生後 15 ヶ月までは後向きでの使用が義務付けられています。**

ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使います。

本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記やマークのある車両に使用することが出来ます。

- 適合の確認**
- 本製品は、i-Size(アイサイズ)幼児拘束装置です。
 - 本製品は、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとして UN 規則 No.129(UN R129/03)に基づいて認可されています。
 - 本装置はアイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本装置は、車両メーカーによって車両ユーザーズマニュアルに記載されている「アイサイズ着席位置」で主に使用するものとして、UN 規則 No.129 に従って認可されています。
 - 本製品は、お子さまの身長に対し、下表の ISOFIX チャイルドシートに対応した車両に取り付けることができますが、ISOFIX 取付け金具を装備したすべての車両に取り付けられるものではありません。弊社社の車両適合表及び、車両メーカーの取扱説明書をご確認下さい。
 - 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された 3 点式リトラクター付き安全ベルトと ISOFIX 取付け金具を装備している場合のみに適しています。

身長/体重	設置向き	設置方法	承認タイプ
40-105cm 18kg以下	後向き	ISOFIX + サポートレグ	I-SIZE
76-105cm 18kg以下	前向き	ISOFIX + サポートレグ	
100-150cm	前向き	車両3点式シートベルト + ISOFIXコネクタ 車両3点式シートベルトのみ	

取付け可能な車両シートベルトの種類	
シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けとロックする。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。 (シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

2 取付けできないシート

- ISOFIX 取付け金具が装備されていないシート。前向き取付け時に取付け金具を使用しない取付け方法もあります。
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバッグが装備されているシート。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取り付けないでください。
- 足下に床下収納ボックスが装備されているシート。
- 極端なポケットシート等、しっかりと固定ができないシート。

3 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

11 ご使用上の警告/注意

- ▲ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 本製品は**取扱説明書**どりに固定してください。
- お子さまの不定定な行動により、**ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し**、使用してください。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず**腰ベルトを低く下げて着用**させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どりに固定できないときは、**他の座席**に取付けてください。
- 本製品の**バックル**をはずしたままでの使用は**危険**ですので絶対にしないでください。(ハイバックモードを除く)
- 後部座席に人が乗る場合**の 2 ドア・3 ドア車の助手席や、1BOX 車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、**緊急時の脱出口確保**のため、取付けないでください。
- お子さまが、**バックルの赤いボタン**を押さないように注意してください。ときどき**タングがバックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても**絶対に使用**しないでください。
- 本製品を改造したり、**カバー類・クッション類**を取りはずして使用しないでください。
- シートカバー**をはずしての使用、または**専用カバー以外での使用**はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 本製品のクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとりで放置することは絶対にしないでください。
- 車中泊に本製品の操作(回転・ベルト調節・角度調節などの操作)をしないでください。
- 新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- お子さまの負担を考え**1 時間以上連続して使用**しないでください。
- エアバッグ**装備の座席に**使用**しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないように調整してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、**直射日光を避け各部が高温でないことを確認**してからご使用ください。

クイックガイド/目次

- ▲ **事前準備**
 - 1 適合の確認
 - 2 取付けできないシート
 - 3 作業スペースの確保
 - 4 使用条件の確認
 - 5 各部名称
 - 6 幼児ベルト操作の仕方
 - 7 角度調節の仕方
 - 8 取付け向き変更の仕方(回転操作方法)
 - 9 キャノピーの使用法
 - 10 側面衝突緩和装置の使用法
 - 11 ご使用上の警告/注意
- **お車に取付ける**
 - 1.ベビーモード 3.ハイバックモード
 - 2.チャイルドモード
 - 1 車両シートの上に置く
 - 2 ISOFIXコネクタを差し込む
 - 3 サポートレグを調節する
 - 4 取付けを確認する
 - 5 お車から取りはずすとき
 - ハイバックモードではサポートレグを使用しません。

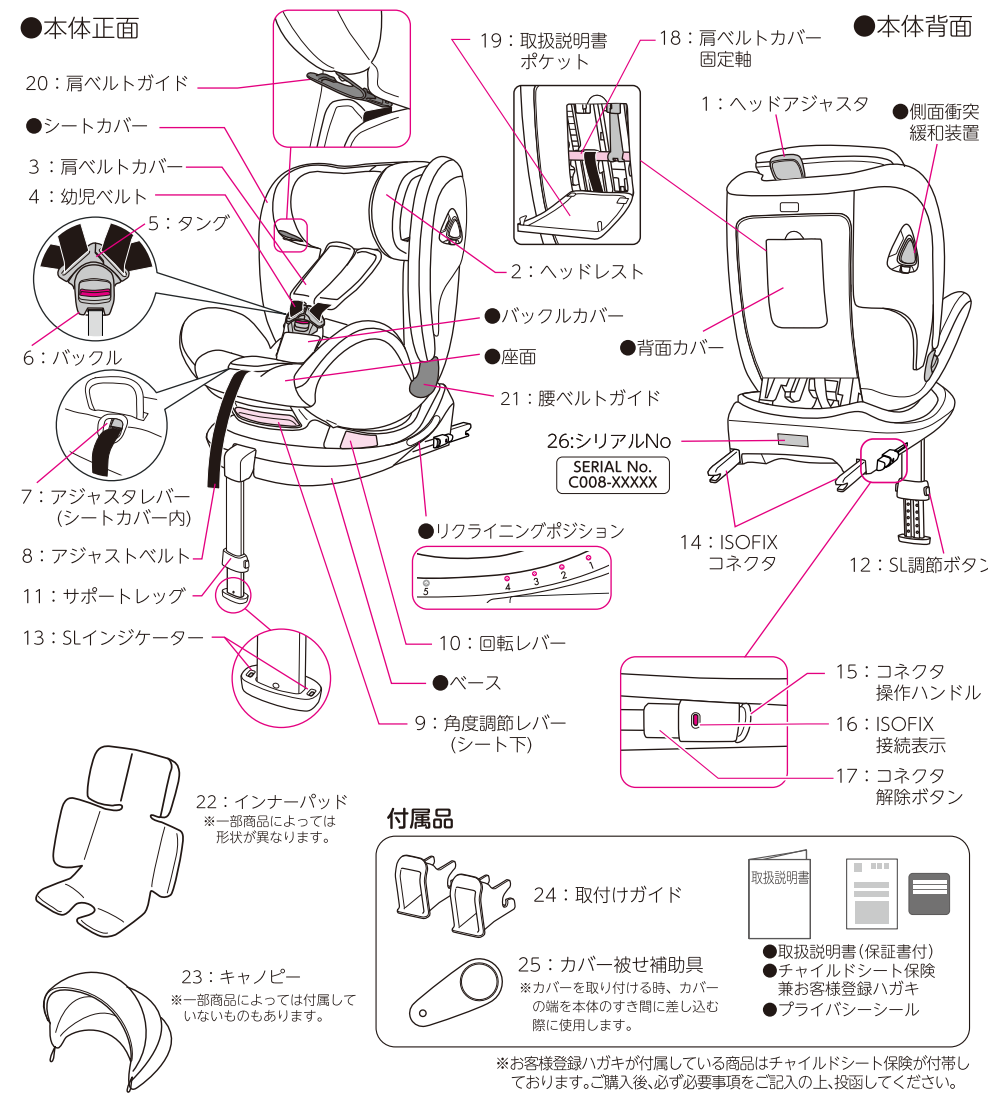
「本取扱説明書」(表面上方の保証書)、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアル No.」の記入欄があります。車両への取付けをおこなう前に「[26 : シリアル No.]」をお控えください。 ※車両への取付け後、車両シートで「[26 : シリアル No.]」が見えにくい場合があります。

身長	1. ベビーモード	2. チャイルドモード	3. ハイバックモード
	使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5	使用リクライニングポジション 1 2 3 4	使用リクライニングポジション 1 2 3 4 5
取付け方向	40cm～105cm		
	76cm～105cm		
固定方法	100cm～150cm		
	ISOFIXコネクタ+サポートレグ+幼児ベルト		
バンナー	車両3点式シートベルト + ISOFIXコネクタ		
	サポートレグは使用しないため、格納します		

5 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。また、製品性能向上のため予告なく仕様変更することがあります。



※お客様登録ハガキが付属している商品はチャイルドシート保険が付帯しております。ご購入後、必ず必要事項をご記入の上、返送してください。

緊急時には・・・ 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。

お子さまの乗せ降ろし メンテナンス

- 1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード
- 1-1 2-1 乗せる準備をする(肩ベルト引きのし方)
- 1-2 2-2 お子さまを座らせる
- 1-3 2-3 幼児ベルトの高さ調整
- 1-4 2-4 お子さまを拘束する(肩ベルトしめ方)
- 1-5 2-5 拘束ポイントを確認する
- 1-6 2-6 お子さまを降ろす(肩ベルト引きのし方)
- 1 カバーを取りはずし/取り付ける
- 2 重要な注意すべき点
- 3 洗濯と日常のお手入れ
- 4 保管/廃棄の仕方/製品仕様

26:シリアルNo. SERIAL No. C008-XXXXX (本体背面)

こちらからweb登録ができます。

6 幼児ベルト操作の仕方

- A 幼児ベルトをゆるめる
 - A 片方の手で「7 : アジャスタレバー」奥側を押しながら、B もう片方の手で左右両方(2本)の「4 : 幼児ベルト」を同時につかみ前に引き出す。
 - このとき、「3 : 肩ベルトカバー」を引かないように注意してください。
- B 幼児ベルトをしめる
 - ※[8 : アジャストベルト]を本体真正面から、まっすぐ手前に引くと、左右の「4 : 幼児ベルト」がしまります。
 - ※[8 : アジャストベルト]を斜めに引くとベルトを傷め、お子さまをしっかり拘束できなくなる可能性があります。
- C 幼児ベルト高さ調整
 - 前述 A の幼児ベルトをゆるめたあと、「1 : ヘッドアジャスタ」を上向きにつかみながら上下させると「2 : ヘッドレスト」の高さと連動して「4 : 幼児ベルト」の高さが変わります。 お子さまを乗せるときには、下図に従い、幼児ベルトの位置はお子さまの肩の高さに調整してください。
- ベビーモード 4: 幼児ベルト
- チャイルドモード 4: 幼児ベルト
- 裏面の ● お子さまの乗せ降ろし 1.ベビーモード 2.チャイルドモード 3.ハイバックモード 3 幼児ベルトの高さ調整 をおこなう時に必ず確認してください。

7 角度調節の仕方

- A シートの下にある「9 : 角度調節レバー」を押しながら、シートを調節する。
- 【使用リクライニングポジション(ベース側面)】
 - 「1. ベビーモード(後向き使用時)」の場合は「5」に合わせる。
 - 「2. チャイルドモード(前向き使用時)」の場合は「1」～「4」に角度変更ができます。
 - 「3. ハイバックモード(前向き使用時)」の場合は「1」に合わせる。
- ▲ ●各モード使用時、指定の角度以外に変更しないでください。
- B レバーから指を離してシートをリクライニング方向にゆすり、ロックされていることを確認する。
- ▲ ●本製品のシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。
 - 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
 - ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。
- ▲ ●ベース背面とシーの背面、リクライニングレバーの下のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりとリクライニングさせてください。お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。

8 取付け向き変更の仕方 ※シート部の回転操作で取付け向きを変更します。

- サポートレグの起こし方
- 回転操作の前に必ずサポートレグを起こしてください。ベース下に格納した状態ではシート部は回転させることができません。
- A「11 : サポートレグ」をベース下から起こす。
 - ① 作業するスペースを充分に確保し本体を横に寝かせる。
 - ②「11 : サポートレグ」を軽くひっぱり、ベース底面から起こす。
 - ③サポートレグをロックするまで約 90 度回転こし、本体を起こす。
- ▲ ●回転操作は ISOFIXコネクタを解除してからおこなってください。(ISOFIX 固定時)無理に回転をさせると車両シート表面を傷める場合があります。
- 回転の仕方
- B ベース左右にある「10 : 回転レバー」を引きながら、シートをまわす。(どちらか片方の回転レバー操作で回ります。)
- 「カタッ」と音がしてロックするまでまわす。
- ▲ 「後向き」と「前向き」の中間の位置(90 度の位置)でロックする箇所がありますが、横向きの状態では走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- C シートを回転方向にゆすり、ロックされているか確認する。
- ▲ ●走行時はシートの回転操作はしないでください。
- ▲ ●お子さまを乗せた状態で取付け向きの変更はしないでください。

9 キャノピーの使用法

- 身長:40～83cm(月齢が15ヶ月まで)のお子さまで「[23:キャノピー]」をご使用いただけます。
- 取付け方
- ①「4 : 幼児ベルト」をゆるめ、「2 : ヘッドレスト」を一番まで上げる。
- ②「2 : ヘッドレスト」下部にある「[20 : 肩ベルトガイド]」左右2カ所に「[23 : キャノピー]」両側のゴム紐をかける。
- ③「[23 : キャノピー]」後側を「[2 : ヘッドレスト]」に被せて取り付けます。「[2 : ヘッドレスト]」を下げ「4 : 幼児ベルト」を調節してください。
- 取りはずす際は、強く引っ張らず丁寧にゆっくりはずしてください。
- ▲ ●キャノピーは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時などに本来の性能を発揮できずに重大な害を負う可能性があります。
- ▲ ●キャノピーは、お子さまの身長 : 40～83cm(月齢が15ヶ月まで)を超えた場合や、お子さまの手が肩いったり身体に触れる場合は、使用しないでください。
- ▲ ●本製品を持ち運ぶ際は、キャノピー部分を持たないでください。
- キャノピーの上部に、ものを載せないでください。
- キャノピーに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。
- キャノピーを洗濯する際、洗濯機は使用しないでください。
- キャノピーを取りはずす際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。
- 芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。
- 破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出危険です。
- 本製品以外での使用や、本来の目的以外での使用はしないでください。

10 側面衝突緩和装置の使用法

- 装置は製品外側、左右に設置されています。
- 緩和装置下のボタンを押すと、図Aのように装置の一部が飛び出します。
- 緩和装置を使用すると、側面衝突時の衝撃を緩和する効果があります。
- ※使用は任意です。側面衝突緩和装置を使用しなくても本製品の安全性上問題はございません。
- ※車両と干渉する場合は使用しないでください。
- ※チャイルドシートにお子さまを乗せた状態で車両のドア側を使用してください。
- 収納する場合は、図 B のように下部のボタンを押しながら収納します。

